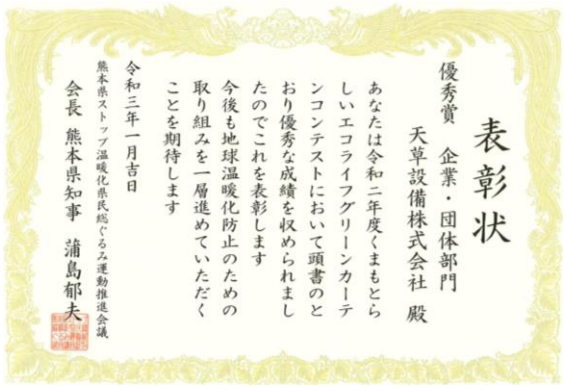
グリーンカーテンコンテスト 優秀賞頂きました



表彰状

優秀賞　企業・団体部門
天草設備株式会社　殿

あなたは令和二年度くまもとらしいエコライフグリーンカーテンコンテストにおいて頭書のとおり優秀な成績を収められましたのでこれを表彰します
今後も地球温暖化防止のための取り組みを一層進めていただくことを期待します

令和三年一月吉日

熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議
会長　熊本県知事　蒲島郁夫

～完了現場紹介～

☆牛深種苗生産施設
　ポンプ室その他改修機械設備工事

☆有明町下津浦地区
　配水施設整備その2工事

横山社長のインタビューが 西日本建設新聞に掲載されました

新聞　2021年（令和3年）2月1日（月曜日）　第5228号　（2）

2020年秋の叙勲で旭日双光章を受章

ひと

天草設備　社長
横山　英生（よこやま　ひでお）　氏

人間力を強化した技術者集団へ

コロナ禍で先行き不透明な閉塞感が漂う中での受章。「業界にとって少しは明るいニュースを提供できたかな」と関係者への感謝を口にしつつ、目尻を下げる。

熊本県管工事業組合連合会で、1994年から副会長を務める重鎮だ。国家資格取得の重要性を訴え、講習会等の支援体制づくりに奔走し、多くの有資格者を誕生させた。「技術者集団を極めるには資格だけでなく、人間力の強化も必要」と次なる目標を掲げる。「工事を行うのは人。品質を高めるには人間力を向上させなければ」。

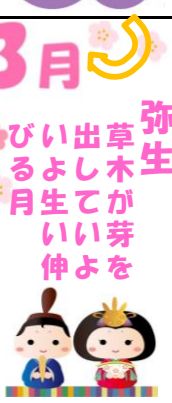
設備業界では、リニューアル工事の増加に伴い、新たな課題も浮かび上がる。「使用中の建物は、作業時間が夜間や休日に制約される」として、「単価などを含め発注者や設計者と意見交換し、問題を解決したい」と意欲を見せる。

生まれ育った天草への思いも強く、清掃活動をはじめ交通事故・犯罪捜査に協力する「みまもり」協定など社会貢献事業にも率先して取り組む。「天草が発展するには、地域内にあるすべての企業が一つにまとまるのが理想。互いに知恵を出し合い、天草の魅力を発信できれば」。今後の活動を模索している。

昨年の受章は、不易流行を信条に歩んできた会社の創立50周年とも重なった。「顧客から感謝して頂ける企業。この目標は絶対に変えてはいけない」と強調する一方、QCサークル活動の実施やISOの認証取得、プライト企業の認定など時代に応じた企業イメージを確立してきた。「感恩報謝の精神を忘れず、信用・信頼される100年企業を目指したい」。新たな決意で挑戦を続ける。

趣味は、コロナの影響で「量が増えた」という読書と、「収束を待つしかない」と苦笑する旅行。天草市在住の71歳。

パイレン'78



天草地域合同企業説明会

二月二十三日、天草市民センターにて天草地域合同企業説明会がありました。天草で事業を行う四十社が参加し、我が社のブースには十四名の高校生が来てくれました。三月入社予定の澤田さんも参加し盛り上げてくれました。

『薬を飲むときタブーの飲み物とは』

岩本　幸徳

薬は水かぬるま湯で飲むのが決まり。そうと知りつつ、ときにはお茶やジュースなど、手近にある飲み物で済ませてしまうこともあるかもしれない。

ジュースは一見水と変わりないようにも思えるが、なかには絶対に薬と一緒に飲んではいけないものもある。その最たるものがグレープフルーツジュース。グレープフルーツには「フラノクマリン」と呼ばれる物質が含まれており、これは薬の分解を助ける小腸の酵素作用を弱めてしまう働きを持つ。このためグレープフルーツジュースで薬を飲むと、薬の血中濃度が上昇し、効力が上がりすぎてしまう危険が出てくるのだ。

例えば降圧剤を服用する場合、極端な血圧低下といった不測の事態を招きやすい。生のグレープフルーツ果実でも同様の悪影響があるので食後に薬を服用するときは要注意だそうです。

『新型コロナワクチン』

沖津　圭一

約一年前から始まった新型コロナ感染症の流行により、私たちの生活は大きく変わり、マスク・検温・消毒の生活が当たり前になりました。新しい生活様式が各種イベントや会合の自粛や中止などにより、ストレスを溜める人が多いと思います。

そんな中、日本では医療従事者たちへの新型コロナワクチンの接種が始まりました。臨床試験のいいデータや世の中の期待はあれど、実政界での実績はまださほどなく、効果は未知数です。しかし私は打てるようになったらいち早く接種しようと思っています。

ファイザー社の物で二回接種、一回目を打ってから三週間空けて二回目を接種するそうです。このワクチンがどのくらいの期間、有効なのか？これから出てくるであろう変異株に対して有効なのか？それらが一番の私の関心です。